



一般社団法人

21世紀の新しい企業を創造する経営者集団

会報 令和6年
—2024年—

日本道経会

3 No. 292
月号

本会の目的

本会は、「道徳経済一体」の理念に基づき、産業人教育の推進ならびに繁栄と永続の企業の創造につとめ、経済倫理の確立および経済界の安定的発展に寄与し、地球市民の一員として社会に貢献することを目的としています。

日本道経会会員社数/互敬塾塾生
732社 / 517名

(令和6年3月1日現在)

巻頭言

創業70周年に思う

南九州支部 代表幹事
山崎株式会社 代表取締役

山崎 正彦



弊社は、昭和28年9月に、西都市の手漉き和紙製造業の山崎製紙株式会社から、二男であった父（故人）が製販分離のもとに、宮崎市で山崎紙店を創業いたしました。当時は、父と母と中学卒業の従業員の三人でのスタートでした。

新天地での知り合いの居なかったそのころ、何かのご縁でモラロジーとの出会いがあり、三人は道徳をよく学んでいました。私も子供ながらに、その会合に連れていかれたことを記憶しています。

創業35年に、私が社長を引き継いだ時に、社訓に加えて、「一．信用第一、一．誠心誠意、一．創意工夫、一．品格ある人づくりを経営理念として、社会になくてはならない企業であることを目指し続けます」という経営理念を作り、新たな気持ちで経営に立ち向かうことといたしました。

企業は利益を出して、社会貢献をすることが大事なことです。それ以上に、人としての品性・

品格の向上を目指すことが、何よりも大切であるということをお教訓してまいりました。

しかし、悩みもあります。新しく入ってくる社員の皆さんに、品性や品格の向上ということについて、すぐには理解をしてもらえないということです。そこで、『徳づくりの経営』をテキストとして配布し、道経一体の教えや品性資本の重要性について、まず自己学習をってもらうようにしています。理解をもらう一歩としては、良い方法であると感じています。

また、会社は、自分の会社だけでなく、仕入れ先や、お得意先が同じように発展していかなければ、大きな発展は無いという三方よしの教えについても、理解を深めてもらっているところです。

70年もの間、経営を続けてこられたことは、会社の方針を理解し、協力していただいた社員の皆さんのお蔭だと、心から感謝をしている次第です。

この節目を機に、さらに道経一体の教えを実践しながら、人づくりと社会貢献の為に取り組んでまいりたいと考えています。

一般社団法人
日本道経会
スローガン

理念 未来を拓く企業の姿は三方よし
活動 企業の繁栄は人づくり経営にあり

岐阜支部 新年経済講演会

令和6年1月26日(金) ホテルパークにて新年岐阜経済講演会を開催致しました。講師に麗澤大学 経済学部教授の大野正英講師をお迎えしました。大野講師は、岐阜市のご出身で金華山の麓でお生まれになり幼少期を過ごされました。地元での講演と言うことで、お友達や同級生、又御縁のある方々もお集まりになり、87名のご参加でした。講演のテーマは新年の経済講演会に相応しい、「AIは社会をどう変えるか—その倫理的課題—」についてであります。

(講演要旨)

・AIは神か悪魔か?

AIによって人間の生活は豊かになる⇒神

AIが人間に害を及ぼす、人間を支配する存在になる。
⇒悪魔

AIが人間から仕事を奪うのか? AIを人間が使いこなすのか?

AIに人間が使われるのか?

理想的にはAIと人間が共存する社会で、AIはあくまでコパイロット(副操縦士)の役割で、人間が意思決定をする補助する役割である。

・AI(人工知能)とは

学習、推論、判断といった人間の知能を持つ機能を備えたコンピューターシステムで、自律的に学習し人間による具体的な指示がなくても、勝手に業務をこなしていく。教師なし学習

・チャットGPTの登場

2022年にチャットGPTが急速に進歩してきたその問題点について具体的にチャットGPTを使いながら説明していただいた。チャットGPTは人間の問いかけに対して自然な文章を作成してくれるが、①質問の意味を理解して回答しているわけでもない。②答えた回答の意味も理解していない。文章はきれいで、整って美しいが、内容が間違っていることもある。又フェイク動画も精度が上がって

悪質なものが出回る。SNSで拡散されるようになった。

・AIは人間を超えられるか。

特化型AIから汎用AIへ

2029年には汎用AIの知能が人間を超える

人間にとって初めて知的能力と言う点で、自分達よりも優れた存在が登場するようになる。それをどう活用していくか、創造に関する領域は機械が苦手とし、人間の優位性が続くと考えていたが生成AIでかなり人間に近いレベルの創作の成果が得られるようになった。AIがAI技術を自己進化させる時代が加速的に進歩する可能性がある。

・人間がAIを使うのか、使われるのか

AIに対する依存度が高まり「AIが賢くなる分だけ、人間がバカになる」しかし、AIは意味を理解していない、論理的な価値判断ができない、

回答の根拠を説明してくれない、思考のプロセスが分らない。

いろんな分野でAIが導入され、AIによって人間の仕事が代替されるようになる。仕事の二極化が進行することになる。

AIについて漠然としたことしか知りませんでしたが、今回大野講師の講演をお聞きしてAIによって得られる回答をすべて鵜呑みにするのではなく、自分自身で考える力を養い、それをきちんと評価できるようになることが大切であることを学ばせていただきました。

事務局長 浅野龍介



奈良支部 例会



令和6年2月16日(金) 17時20分より、ホテル日航奈良において2月度例会を開催しました(出席者:3

8名)

例会に先立ち誓いの言葉を唱和し、開会挨拶を油谷謙之代表幹事より陳べられました。

今回の例会講演は、MBI講師で有限会社サイトウプリント代表取締役社長、日本道経会神奈川支部代表幹事の齋藤正一氏による経営体験談です。

齋藤氏の講演では、先代からの印刷業経営や日常生活での経験を下に「幸せ」についてのお話を頂戴しました。

アダム・グラント著書『Give & Take』より、人間は「相手に惜しみなく物事を与える人 (Giver)」、「自分の利益を優先する人 (Taker)」、「損得のバランスを考える人 (Matcher)」に分類でき、利他の心をもつ Giver を目指そうと話されたこと、「運のいいヤツは海に落とすと魚を啜って上がってくる」と話されたことはとても心に残りました。

した。

例会終了後には懇親会を行い、楽しいひと時を過ごすことができました。会員を含め各方面からのご出席誠にありがとうございました。

宮原電気株式会社 宮原 克尚

京都支部 「道経一体経営セミナー」

令和6年2月14日(水)、京都駅八条口のリアージュグランデにて道経一体経営セミナーを開催いたしました。参加者は21名で、佐藤孝幸税理士事務所の佐藤孝幸講師をお招きし、「目からウロコ! 永続経営のための財務会計」というテーマで御講演をいただきました。

非常にわかりやすいスライドを用いて、主に永続経営に必要な心構えを中心に勉強をさせていただきました。

佐藤講師の講演を拝聴しながら、二宮尊徳翁の言葉にもあります、『道徳なき経済は犯罪であり、経済なき道徳は寝言である』という名言を思い出しました。

経済と道徳の両輪が噛み合うことではじめて、社員のやりがいや育てることができ、永続的に成長につながる会社づくりができるのだ、ということに改めて気づかせていただきました。

また、組織の目的は「人づくり」といわれるように、社員の皆様が成長できる会社であるとともに、私自身も社員・お取引様・仕入れ先様・家族などをはじめ、周りを取り巻くすべてのステークホルダーとなる皆様に感謝の気持ちを忘れず、働き甲斐のある会社づくりを目指していこう!

気を引き締めることも出来ました。

また、第二部懇親会でも、佐藤講師を交え大変アットホームな雰囲気の中、参加者の皆様それぞれが、なごやかで笑顔の絶えない交流の場を楽しませていただきました。新規でのご参加は3名来ていただき、今回のセミナーを通じて引き続き学びを深めていきたい、ということでご入会をしていただける方もいらっしゃいました。

今回の道経一体経営セミナーを通じて、楽しく、また勉強にもなる有意義な時間を過ごすことができました。

京都支部会員 樋口 真一郎



三重支部 例会

令和6年2月15日(木)15:00より、SYNTHビジネスセンター近鉄四日市にて、麗澤大学国際学部 教授 岩澤知子氏をお招きし、三重支部2月度例会を開催いたしました。

「日本人にとって「神」とは何かー「カミ」の源流を求めて」というテーマで、神話や日本語に込められたパワーについて等、とても興味深いお話をとてもわかりやすくお話いただきました。先生の講話の中で、日本語の語源を沢山教えていただき、普段何気なく使う言葉にも言霊という言葉があるようにパワーが宿っている事を改めて感じ、言葉の使い方に対する意識が変わりました。先生は、日本語「なる」の世界観について「生る・変化・成る」自ら発生・成長・増殖していく「生成の原理」無限に生成変化していく「いのち」のダイナミズムとおっしゃっていて、ひとつひとつの言葉の語源を知ることはとても面白く、語源辞典を開くきっかけをいただきました。こういった神話や語源に触れることで、先生がお伝えしてく

れた、岡本太郎の言葉『日本の伝統より』『「伝統とは何か」を問う事は、己の存在の根源を掘り起こし、つかみ取る作業。人間の根源にさかのぼり、本来の生きがいをつかみとるために挑むべきこと。我々が置き忘れてきてしまったーしかし、心の底に、まだ熱く生き続けているもの。』というメッセージはとても深い意味があり、日本人として今真剣に思い出すべきことではないかと強く感じました。

事務局長 木本 久美子



大阪支部 道経一体経営セミナー

令和6年2月17日(土)13:30から「道経一体経営セミナー」をシェラトン都ホテル大阪にて30名の参加で開催しました。内訳は大阪支部会員及び互敬塾生が26名、一般が4名でした。13時半より開会し、終了後は両講師を囲んで恒例の懇親会を開催し、大いに盛り上がり、19時には散会しました。

前回はコロナ禍で急遽中止となり、4年ぶりの開催でした。「道経一体経営セミナー」では、実際の経営実践発表の講師と、セミナー講師の MBI 講師二名にお越しいただき、実践発表担当の寺下敏弘講師に1コマ、講義担当として藤井大拙講師に2コマの構成としました。

講義に3コマとる必要から土曜日の午後の時間帯に開催しましたが、休日に参集していただく必要もあり、参加者が30名にとどまりました。今後の検討課題です。

寺下講師には、自己紹介、会社の概要の他、後継者としての事業承継の経験者としてのお話、現在取り組んでいる内容等とお話がありました。「三方よし」の考え方をいかに日常に具現していくか、様々な取り組みをご紹介いただきました。

藤井講師は「道経一体をなぜ学び、実践するのか」についての色々な見方、考え方、実践方法など、をご紹介いただきました。どうしても経営者として近視眼的に考えがちですが、長いスパンにて企業と経営と人づくりについて、示唆をいただきました。

4年ぶりのセミナーでしたが、開催できてよかったです。両講師有難うございました。

事務局長 藤岡 庸一



互敬塾奈良支部 例会

令和5年12月15日(金)18:00～橿原市役所分庁舎ミグランス4F コンベンションルームにて、12月例会を24名の参加で開催致しました。

講師に、清水隆一コーチングオフィス代表 清水隆一氏をお招きし『やる気を起こさせるコミュニケーション方法』をテーマにビジネスコーチングを学ばせて頂きました。

日常のビジネス現場において、若手社員の育成やコミュニケーションは、昨今どの企業においても課題であると捉えており「自発的な行動を引き出すコミュニケーションスキル」であるコーチングをテーマに選定しました。

清水講師からは、人づくりはその人が「そうしたい」と思える環境づくりであることを前提に、様々な具体的事例をもとに解説いただきました。

まず自発性を引き出すことの重要性を知り、そのためのコミュニケーションスキルとしてコーチングの考え方がある。人材育成におけるコーチングとティーチングを使い分けやバランスの重要性。自発性のある社員の育成を進めることで、組織目標から個人目標への展開(自分は何ができるのか)が実現できるということを学びました。

また、スティーブン・R・コヴィー博士の著書『7つの習慣』

でも提唱されている相互依存についても解説いただき、そのためにもコーチングスキルはもちろんのこと、組織論も含めた環境づくりが重要であると言うことを学ぶことができました。

参加者は、経営者、会社幹部が中心ということもあり、同じく課題と捉えている方が多いことから、講義の質疑応答や、懇親会では闊達な意見交換がなされ、有意義な時間となりました。

今後も、道徳経済一体思想をみんなで学びながら、様々な課題解決に向けた勉強の機会として例会を活発に行ってまいります。

例会担当委員会委員長 前田 晋也



本会報のバックナンバーはホームページでご覧いただけます。

NIHON DOHKEIKAI <http://www.ndk.gr.jp>

一般社団法人

発行：日本道経会

〒277-0065 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1
TEL. (04) 7173-3172 FAX. (04) 7173-3134
E-mail office@ndk.gr.jp

事務局だより

2月のモラロジー道徳教育財団主催の道経一体経営講座では、定員を超える申し込みがあり、とても学びの多い講座となりました。日本道経会会員様も沢山受講されていました。次回は6月に開催されますので、受講予定の方は早めにお申し込みください。本部でお待ちしています。

本部事務局